

ID _____ 患者氏名 _____ 様 (性別 _____)

身長 _____ cm 体重 _____ kg 年齢 _____ 歳 体表面積 _____ m²

HBs 抗原 (+ -) HBe 抗原 (+ -) HCV 抗体 (+ -)

薬剤	投与量	投与日	
		1 コース 4 週間	
		1 コース目	2 コース目以降
		Day 1・8・15・22・29	Day 1・8・15・22・29
サークリサ	10 mg/kg	↓ ↓ ↓ ↓ (毎週)	↓ ↓ (2 週毎)
デキサメタゾン (=レナデックス、デキサート)	40 mg/body/週	↓ ↓ ↓ ↓	↓ ↓ ↓ ↓
ポマリスト(内服)	4mg/body	↓……………↓ (3 週内服、1 週休み)	↓……………↓ 3 週内服、1 週休み

75 歳を超える患者ではデキサメタゾンを 20mg/body への減量を考慮

レジメンオーダー以外に必要な処方

カロナール (200) 650~1000mg、ファモチジン (20) 1 錠 サークリサ投与前

ポマリスト 1×朝食後 day1~21 21 日分

デキサメタゾン (内服) 40 mg/body 2 コース目以降の day8, 22 (サークリサ投与日は点滴で投与)

抗血栓薬 (ポマリスト血栓予防、アスピリン 100mg など)、必要時: アシクロビル、フェブリク、ダイフェン

注意事項

投与前に不規則抗体のスクリーニングを含めた一般的な輸血前検査を実施してください

クームス試験に影響を与えるため、サークリサを投与することを検査科へ連絡してください (投与後 6 ヶ月は影響の可能性あり)

サークリサ: インフュージョンリアクション (アナフィラキシー、呼吸困難、咳嗽、悪寒、悪心など) に注意。

室温では混注 8 時間以内に使用終了すること

サークリサのルートにはフィルター付き輸液セット (ニプロフィルターセット STFPG-20BRCG) 使用

サークリサ投与方法	
1	(ケモセーフ点滴セット不要) フィルター付きセットを使用 生食 100mL、メインルートをプライミング、ゆっくり (ルートキープ)
2	カロナール (200) 650~1000mg、ファモチジン (20) 1 錠 内服
3	デキサート(3.3mg/1.0mL) 12A、ポララミン(5mg/1mL)1A、生食 50mL 15 分で、
4	生食 50mL、ゆっくり (ルートキープ)、15 分間、残破棄可
5	サークリサ _____ mg、生食、適量 (250mL バッグ使用) 全量: 250 mL メインルートから 投与速度は次ページの別表を参照 開始前、速度変更時、終了時に体温、脈拍、血圧測定
6	生食 100mL メインルートから、ゆっくり、ウォッシュアウト 適宜途中終了可、残は破棄